



## 待機児童解消に向けた現状と 今後の見通しについて

公明党 戸澤 幸雄



定員が120名に増えた下今泉保育園

**問** 市では、昨年12月に「平成29年改訂えびな待機児童解消プラン」を策定し、これを個別計画と位置づけ、今後、平成31年までに待機児童解消を目指すとしてあります。待機児童解消に向けての現状と今後の見通しについて伺います。

**答** (市長)：待機児童数は昨年4月が58名と前々年から年々減少しています。定員については、昨年と本年4月1日を比較すると、過去最大規模となる334名の定員拡大が図られる予定です。それにより待機児童及び保留者数は、昨年度よりもある程度減少する見込みです。

平成31年度までの待機児童解消を目指し、今後も民間との協力による保育施設の拡充に向け、鋭意取り組んでまいります。

**答** (保健福祉部長)：平成29年度中の定員拡大の取り組みは民間では認可保育所の新設として2園で150名、小規模保育施設の新設として1園で19名、公立では下今泉保育園の定員拡大で30名、合計199名となっています。さらに、本年4月1日には、民間の認可保育所の新設として2園の110名、1園の小規模保育施設の新設で19名、定員拡大の1園の6名、合計135名の定員拡大が図られます。待機児童解消プランでは平成31年度までの取り組みとして、定員60名の認可保育園2園と小規模保育施設1園の新設のほか、既存の幼稚園のうち3園が認定こども園への移行を検討しているため、これをお定め付けています。

その他の質問

・高齢者施策について



## 安心して医療を受けられる 国健康保険制度にするために いちごの会 吉田 みな子



## ゴミ行政について

日本共産党 松本 正幸

**問** 市では、昨年12月に「平成29年改訂えびな待機児童解消プラン」を策定し、これを個別計画と位置づけ、今後、平成31年までに待機児童解消を目指すとしてあります。待機児童解消に向けての現状と今後の見通しについて伺います。

**答** (市長)：待機児童数は昨年4月が58名と前々年から年々減少しています。定員については、昨年と本年4月1日を比較すると、過去最大規模となる334名の定員拡大が図られる予定です。それにより待機児童及び保留者数は、昨年度よりもある程度減少する見込みです。

平成31年度までの待機児童解消を目指し、今後も民間との協力による保育施設の拡充に向け、鋭意取り組んでまいります。

**答** (保健福祉部長)：要綱には貧困による減免という規定がございます。しかし、生活困難でかつ分納や徴収猶予に応じられない方に対しても、慎重に適用していくものです。

**問** 生活困窮の基準となる最低生活費のシミュレーションでは、ひとり親世帯で、親が40歳、小学生と中学生の子どもが2人、家賃5万円の賃貸住宅の場合、最低生活費は25万円でした。シミュレーションをしてみて、多くの方が減免制度を利用できる可能性があることがわかりました。所得が低く減免制度を利用できる可能性がある方には、職員が積極的に案内できるように、世帯別のモデルケースをいくつか示したマニュアルを作ることが必要ではないでしょうか。

**答** (保健福祉部長)：要綱は減免対応ができる前提ですが、まずは分納、納税猶予など相談の中で減免も選択肢があると考えています。

その他の質問

・連絡所等証明書発行体制再編計画における連絡所および自動交付機の廃止と証明書のコンビニ交付について

・海老名駅自由通路のあり方に  
について

・総合防災訓練について

